

2024 12/24・2025 1/14合併号

No.2225・2226

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



正月三が日に例年約250万人が訪れる鶴岡八幡宮（鎌倉市）で、縁起物の「破魔矢」作りが大詰め。



contents

視点点描	3
2025年も野球の年に	
講演録	4
「激動の秋から来年夏へ 政治の激動は続く」 政治ジャーナリスト・鮫島 浩	
特集	8
日中関係に好機 課題山積も急接近 トランプ政権前に 改善へ積極姿勢を	
政治双眼鏡	12
新体制の維新、苦境打開なるか 「二頭」の指導力発揮が大前提	
経済双眼鏡	13
人種差別とトランプ次期大統領 分断は進むのか	
水谷竹秀×リアルワールド	14
「暗殺計画」言及、比で対立激化	
よんななエコノミー	15
ふるさと納税の功罪	
くらし2024	16
急がれる治療薬開発 「国民病」の認知症 高額薬価が課題	
本郷和人 歴史の舞台をゆく	18
清見関物語	
神奈川景気データファイル	20
かながわTODAY	22
2025年の主な予定	

事務局だより

◇2025年1月定例講演会
1月16日(木)午後2時～3時30分
ロイヤルホールヨコハマ
(横浜市中区山下町)
講師：歴史学者
本郷 和人氏
演題：相模国と横浜

◇2025年2月定例講演会
2月13日(木)午後1時30分～3時
メルヴェーユ(桜木町駅近く)
講師：フェリス女学院大学学長
小檜山 ルイ氏
演題：フェリス女学院大学の
現在と未来 ～一研究者から学長となって

◇2025年3月定例講演会
3月3日(月)午後1時30分～3時
ロイヤルホールヨコハマ
(横浜市中区山下町)
講師：元横浜高校野球部監督
渡辺 元智氏
演題：名将が語る今年の高校
野球

【お知らせ】神奈川政経懇話会の事務局は年末年始の12月28日から1月5日まではお休みです。

視点 点描



2025年も野球の年に

2024年は神奈川の野球が大いに盛り上がった年だった。

まずは、何と言っても横浜DeNAベイスターズの26年ぶりの日本一。リーグ3位からの下克上、そして日本シリーズも地元横浜スタジアムで連敗スタートからの逆転勝ちだった。優勝パレードも行われ、26年前にはまだなかった象の鼻パークといった横浜の美しい

街並みがブルーのベイスターズファンに埋め尽くされた。

加えて、秋に行われる明治神宮野球大会高校の部で横浜高校が優勝。こちらも1997年以来27年ぶりの優勝。前回勝ったのは、あの松坂大輔投手を擁した「最強チーム」だ。さらに夏の社会人野球日本一を決める都市対抗で三菱重工Eastが悲願の初優勝を果

たした。三菱Eastは古くから横浜を拠点にしてきた三菱重工横浜の流れをくむチーム。苦しい時期もあったが、グループ内のチーム集約を経て、再び日本一の強豪チームとなった。

実は、前回ベイスターズが日本一に輝いたのは1998年。この年は松坂投手の横浜高校が秋からの連勝記録を伸ばし続け、公式戦無敗の44連勝。春、夏の甲子園を連覇し、地元の神奈川で開催された当時の国体（現国民スポーツ大会）でも優勝した。そして社会人野球は日産自動車都市対抗を制覇した。不思議な巡り合わせと言うしかないが、ベイスターズが日本一になる年は高校と社会人の野球も全国優勝を成し遂げている。さて、これから始まる2025年はどうだろう。まず目が離せないのは横浜高校だ。秋のチームは26年前の「松坂世代」と比べられ

る実力を誇ると評判だ。1年右腕の織田翔希投手という、並外れた素材がいることもあの年を彷彿とさせる。そして2010年シーズンから休部となっていた日産自動車野球部が今年、再スタートを切る。企業スポーツが難しい時代に再び日産本社のチームとしての活動を開始する社会人野球へかける思いに期待が高まる。もちろん、ベイスターズは今季、リーグ優勝からの日本シリーズ制覇を掲げて臨む。戦力的には主力選手の流出もなく、こちらも大いに期待して大丈夫だろう。

まずは1月24日に選抜甲子園出場校が発表され、1月末からはプロチームも社会人チームも続々とキャンプインだ。再びの巡り合わせを期待しながら、球春を楽しみに待ちたい。

（神奈川新聞社運動部編集委員
兼論説委員・和城信行）